

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	コネクト×さいころ		
○保護者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	8名	(回答者数) 7名
○従業者評価実施期間	2026年4月1日		～ 2026年4月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	11名	(回答者数) 11名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年5月9日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。 子ども達の活動に合わせた空間となっている	その日通所する児童の特性を考え、日々配置を考えて準備をしている。 活動時には思いっきり活動に取り組めるよう、布団を片付け離床をし、活動に取り組んでいる。	安全な環境で過ごせるよう整理整頓を継続していく。
2	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられる	子どもそれぞれのできることに合わせ関わり方を変えて支援を行っている。	できることを継続していきながら、他にもできることはないか、など広い視野で関わっていく
3	活動プログラムが固定化されないよう工夫している	クッキングを行うなかでミキサーの振動を感じたり、野菜の硬さを感じてもらうなど同じクッキングをするでも目的を変えている。	活動をするにおいて、目的を明確にし、それぞれの児童の強みを活かしながら支援方法を考えていく ただ“行う”だけにならないよう、職員同士で情報共有し、取り組んでいく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会が行われていない、少ない	家族等も参加できる研修会などの情報収集を行っていない	家族等も参加できる研修会などの情報収集を行い、情報提供をしていく
2	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族の支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていない、少ない	保護者同士の交流の機会やきょうだい同士の交流の機会ををどのようなかたちで開催したら良いのか検討段階である	どのようなかたちで交流の機会を設けるか検討していく
3	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知、説明されていない	それぞれのマニュアルをHUGかLINEを用いて周知していく	保護者にわかりやすく伝える方法を検討し、周知していく